

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名 ソラストふどうまえ保育園

所在地 品川区西五反田5-6-38

1 活動のテーマ

世界の国旗を知ろう

＜テーマの設定理由＞

万博へ行った園児が多く、世界陸上を開催していたこともあり、世界の国旗に興味をしていた。世界地図に興味をもったり、国旗へも興味を持つようになったので、国旗について深めて学んでもらいたい。
レゴにて国旗を作ることによって表現する力を養い、発表会ではまとめて披露し達成感を

2 活動スケジュール

9月→万博に行った園児より、国旗の話があり、図鑑で調べるようになった。
10月→世界地図にも興味を示したり、国旗を絵に書いたり、レゴを用いて表現するようになってきた。
11月～1月→外国が中心の世界地図を見て日本地図と中心が違うことに気づく。国旗カードにてゲーム感覚で国旗を学ぼうとする。レゴでも国旗を模倣していく。
1月末 発表会にて国旗の種類を披露していく。

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具
地球儀・国旗カルタ・レゴ(現状では足りず追加で購入)

4 探究活動の実践

<活動の内容>

9月→万博に行った園児より、国旗の話があり、図鑑で調べるようになった。
10月→世界地図にも興味を示したり、国旗を絵に書いたり、レゴを用いて表現するようになってきた。(レゴは、現状では足りなくなり追加購入を検討)
2月→オリンピックにも興味を示し、どの国が金メダルだったなど図鑑をみながら話すようになっていた。国旗だけでなく、場所と国旗がリンクするよう地球儀を提供。自分たちがしている国旗がどこにあるのか探す姿が見られた。
3月→WBCをきっかけにさらに国旗と国へ興味を持つようになった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

カルタや絵本を通じ、世界に興味を持つようになっていった。そこから、カプラなどで世界の建物を作る姿がにみられるようになっていった。
WBCでは、各国を応援しながら地球儀を使い、場所を確認するようになった。日本と比べ、大きい小さい、近い遠いを感じるようになった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	
園名	ソラストふどうまえ保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

<テーマの設定理由>

食育 ～味噌を作ってみよう

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

毎年、4歳児になると大豆を発酵させて味噌を作ります。味噌ができるまでを学び5歳児では、味噌を使ったクッキングを行い、食育への関心を持つ。

2. 活動スケジュール

4歳 冬 ミールケアと一緒に大豆について学び、味噌作りを始める。

定期的に観察

5歳 秋 完成

10月に味噌汁にて提供

11月バランスゴマを使い、栄養を学ぶ。

味噌を使い五平餅を作る。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等を記載ください。

活動にかかわる準備品

エプロン・大きめのテーブル・クッキング用品

昨年度。味噌作りを開始。大豆を観察し触感・匂いなど感じる。※写真1

定期的に発酵中の味噌を観察。

2025年 8月 味噌の完成が間近となり、味噌汁の具材選びを行う。※写真なし

たいよう会議にて、子どもたちが主となり、何を入れたいか話あった。※写真2

具材が4種類となり2日間にて提供決定。

子どもたちより、味噌を使ってクッキングをしたいと提案。

エプロンも職員と同じものを使用し、子どもたちのやる気にもつなげていく。

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

カルタや絵本を通じ、世界に興味を持つようになっていった。そこから、カプラなどで世界の建物を作る姿が見られるようになっていった。

WBCでは、各国を応援しながら地球儀を使い、場所を確認するようになった。

そこから日本と比べて大きや小さい、近い遠いを感じるようになっていった。

※写真1 2025年2月12日



2025年02月12日

大豆のお話しをするよ。



このおまめが味噌になるよ。

※写真2 2025年10月2日/21日



味噌汁おいしい～



これは自分で作った味噌だよ～

2025年11月6日



どうしたらバランスよくなる？

2026年3月25日



この前と色が少し違う・・・



どんな味かなめてみよう！



焼いたほうがおいしい！

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名 ソラストふどうまえ保育園

所在地 品川区西五反田5-6-38

1 活動のテーマ

秋の自然観察をしよう

＜テーマの設定理由＞

春先にお花に興味をもったので、秋になったら林試の森へいき、お花や葉っぱを調べて行きたい。
葉っぱやお花を用いてフロッタージュを行ったり、染め出しなど発展につなげていきたい。

2 活動スケジュール

11月

林試の森にて葉っぱやお花探し→フロッタージュを行う。

12月

お花を使っておしばな作成、しおりを作る。

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

探検ボード

鉛筆などの筆記用具、ボードなど自己管理できるようお道具箱

4 探究活動の実践

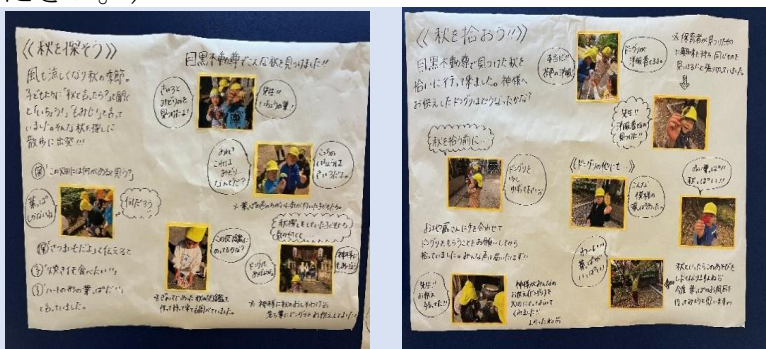
<活動の内容>

11月、目黒不動尊へ散歩にいき、秋探しを行う。どんぐりや葉っぱを見つけ、どんぐりの形の違いや種類を探す姿が見られた。2月には、梅や早桜を模写したり、集めた枝や葉っぱを再度調べる姿もみられた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・自然物への興味が深まり、子どもたちが自主的に探索をするようになっていった。そこから散歩に必要な物を考え、準備する姿が多くなっていった様に感じる。
- ・小学校との関わりで「こすりだし」を教えてもらおうと、進んで楽しむ様になった。その後、友達と、葉や花の絵を書くこともつながった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名 ソラストふどうまえ保育園

所在地 品川区西五反田5-6-38

1 活動のテーマ

カブを育ててみよう

＜テーマの設定理由＞

6月に食育の観点からカブの栽培を行ったが、虫食いや暑さの影響で育たず。その後、子どもたちからまた育てたいという声があがり、秋から育てることに。1月末に発表会があるため、大きなカブを披露するにあたり、栽培していくところからつなげていきたい。また、自分たちで育てたカブを食することで野菜のおいしさも学んでいく。

2 活動スケジュール

6月→カブ栽培(虫食い&暑さで失敗)

11月→再度カブ栽培

1月頃→収穫しクッキング

1月末→大きなカブの発表会

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

虫食いされないようネット

栽培用の肥料や土・種

クッキング時、安全にできるよう大きめのテーブル

4 探究活動の実践

<活動の内容>

4月より、「大きなカブ」の絵本に興味をもち、繰り返し読む姿が見られたので、カブの栽培を行う。しかし、初夏に植えたカブは虫くいと暑さにより育たなかった。そこで、なぜ育たなかったを子どもたちと考えネットを購入。暑さが和らいだ頃、再度カブの栽培を開始。合わせて、大きなカブの歌をうたったり、発表会でも大きなカブを披露した。3月になるとようやく葉も育ち、収穫を行う。実際のはカブも小さくたべられなかったが、子どもたちと葉っぱを使いふりかけを作った。食べられるカブも用意し、味や感触にも触れた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

1年を通して、カブ栽培を行ったことで、子どもたちが見通しを持って活動することができた。春頃に行った栽培活動よりも冬の活動時のほうが理解力が上がっており、子どもたちと異一緒に学び、相談しながら進めることができ、アプローチ方法の学びにもなった。また、野菜が苦手な子が多いクラスで、育てたカブを食べてみよう挑戦する意欲や、他の野菜への興味につながったと感じた。